

## 第11期生涯学習分科会の検討課題について(第111回～第113回の議論を踏まえて)

※赤字下線部:前回からの変更箇所

1. デジタル社会における急激な社会の変化の中で、社会的包摂を実現するために生涯学習・社会教育が重点的に果たすべき役割は何か。
  - ・誰一人として取り残されることのない社会を実現するために重視する機能
  - ・デジタル・ディバイド解消のためにどのような取組が必要で、生涯学習・社会教育施設に期待されることは何か
2. これからの生き方を豊かなものにしていくために、特に学校教育を終えた若者が自ら学ぶ必要があるリテラシー・スキルと有効な育成方策について。
  - ・今後も社会で活躍していくために必要なリテラシー・スキル(創造性など)
  - ・学びの必要性を認識していない人々を学びに向ける動機づけ、仕組み
3. 生涯学習・社会教育が持続可能な地域社会を形成・維持していくために、学びの過程はどのようにあるべきか。
  - ・社会の閉塞感や活動の制約が増す中で、生涯学習・社会教育関係者の果たすべき役割
  - ・生涯学習・社会教育が持つ社会的意義や公共性とは何か
  - ・地域における各コミュニティ同士や他の共創主体との連携の在り方
  - ・個人や地域社会のウェルビーイングを支える場としての生涯学習・社会教育基盤の在り方(学び合い、教え合い)

## 本日の審議の進め方(1)

---

本日の審議のテーマ(1): 第11期生涯学習分科会の検討課題について  
これからの社会で活躍するために求められる能力とその育成方法

プレゼン1

長谷川委員

「これからの社会におけるアート教育とデザイン教育」

プレゼン2

山内委員

「生涯学習におけるオンライン学習の位置付け—MOOCと反転学習の事例から」

質疑応答・意見交換(約40分程度)

## 本日の審議の視点（例）

本日の審議のテーマ:これからの社会で活躍するために求められる能力とその育成方法

検討課題2. これからの生き方を豊かなものにしていくために、特に学校教育を終えた若者が自ら学ぶ必要があるリテラシー・スキルと有効な育成方策について。

検討課題3. 生涯学習・社会教育が持続可能な地域社会を形成・維持していくために、学びの過程はどのようにあるべきか

（審議の視点例）

- ・ 今後も社会で活躍していくために必要なリテラシー・スキルとは何か
- ・ 個人や地域社会のウェルビーイングを支える場としての生涯学習・社会教育基盤の在り方

【長谷川委員プレゼン】

- ・ デザイン・アート教育の意義、求められる背景
- ・ リカレント教育におけるデザイン・アート教育の可能性
- ・ デザイン・アート教育の教育者育成に関する課題

【山内委員プレゼン】

- ・ 生涯学習にオンライン学習をどう取り入れていくか。
- ・ 対面学習との関係をどう位置づけるか

## 本日の審議の進め方(2)

---

本日の審議のテーマ(2): 第11期生涯学習分科会の議論の方向性について

資料説明

牧野副分科会長

「今期の生涯学習分科会の議論の方向性について」

質疑応答(約15分程度)

※各委員との意見交換については、次回(第115回 令和4年2月15日開催予定)を予定